



ノーリフトケアで職員も利用者も身体負担を軽減。 現場環境改善と同時に推進し、定着率抜群！

職員の身体負担を軽減するため、赤碕福祉会はノーリフトケアを開始した。現在はスライド

ボードやシートなどを用いて力を入れずに移乗できる手法を法人内に広げている。

入江氏: 従来のやり方と変わるので、定着しにくい面もあります。私たちは推進チームを立ち上げ、目的と定着法を徹底しました。

多くのスタッフが「楽になった」と取り組みを評価し、利用者にも好評だ。今後新たな介護用具を可能な範囲で導入し、利用者の尊厳を保ちつつ現場の負担軽減を進める。

定着推進に並行して、身体負担に関するアンケートを全職員に実施した。新しいケアを提案するだけでなく、現場の改善とともに進めたのが、ノーリフトケア定着に繋がったと入江氏は考える。この取り組みを外部に広く伝えれば、施設、職場の魅力をいっそう感じてもらえるだろう。

地域に喜んでもらえるサービスを続けるために、 チームワークの良い魅力的な職場を維持する。

法人設立から約30年。入江氏の目は、先の10年、50年を見ている。

入江氏: 私たちはここで、数十年後もずっと高齢者、障がい者支援を続けて行きます。その意義をしっかりと感じて、より良いサービスを提供していきたい。終の棲家でもあるので、「ここで暮らして良かった」と感じていただけるようにいつも願っています。

そのためにチームワーク、何でも話し合える雰囲気、思いやりのある職場への意識を保ち



続けている。職員たちは利用者から多くを学び、互いに支え合うチームのなかで成長し、魅力的な職場の空気を赤碕福祉会の伝統として未来へ受け継いでゆく。

CORPORATE DATA



社会福祉法人 赤碕福祉会

旧赤碕町内の高齢者、障がい者を中心に福祉事業を展開。利用者満足度、従業員満足度ともに高水準を維持している。

- 住所：東伯郡琴浦町赤碕1061-3
- 電話：0858-55-2051
- WEB：http://www.hyakujyuen.jp/



VOICE 働く人の声



看護 係長
小串祐美子さん

学び続けて、働きやすい職場づくりに取り組みたい

百寿苑の職員に声をかけて頂き、平成21年に入社しました。当時は看護師としてご利用者様の健康を支えることが大きな目標でした。今はそれに加え、働きやすい職場をつくりたいという思いも強くなっています。昨年度から始めたノーリフトケアも、その取り組みの一つです。現場での研修、実践、モニタリング、さらに改善を繰り返す中で職員の気づきも増えてきています。小さな改善の積み重ねで、今は少しずつ働きやすい職場に近

づけていると思います。

また、赤碕福祉会では苑内外の研修体制が充実しており、学びの風土があります。私も昨年度リーダー研修に参加し、リーダーの役割やコミュニケーション技法について学びました。現場でもそれを実践し、コミュニケーションや業務が円滑になってきたと実感しています。これからも上司や同僚と一緒に働きやすい職場を目指して、一つ一つの課題に取り組んでいきたいと思っています。

